

# 日本を元気にする 「攻めのIT」

---

組み合わせ型のビジネス課題解決

2016年2月3日  
中電シーティーアイ 荒木 岳文

## ◆CITP社会価値創造分科会

<目的>

**実践可能なプラクティス**を調査・研究し、成果を共有・実践。  
**企業の競争力**に加えて、日本の国際競争力の向上に貢献。

[本テーマの検討参加者] ※敬称略

鵜澤 亨 [日立製作所]

浜本 拓 [ラック]

岡崎 四郎 [住友電気情報システム]

荒木 岳文 [中電シーティーアイ] ◎発表者

[アドバイザー] ※敬称略

平林 元明 [CITPフォーラム代表]

## ◆なぜ攻めのITをテーマに？

- ・ 組織を超えたプロフェッショナル集団である  
CITPコミュニティにおいて  
これまで我々が担ってきた「**守りのIT**」だけではなく  
今後大きな波が来るであろう「**攻めのIT**」についても  
今から貢献できることがあるか考えてみよう

1. 攻めのIT
2. 組み合わせ型のビジネス課題解決
3. 「攻めのIT」ディクショナリ (α版)
4. 今後の課題

# 攻めのIT

---

## ◆攻めのITとは（経済産業省：攻めのIT活用指針より）

近年、ITの高度化が進展し、かつてないほどにIT製品やシステム及びサービスが充実し、多様なツールが提供されています。

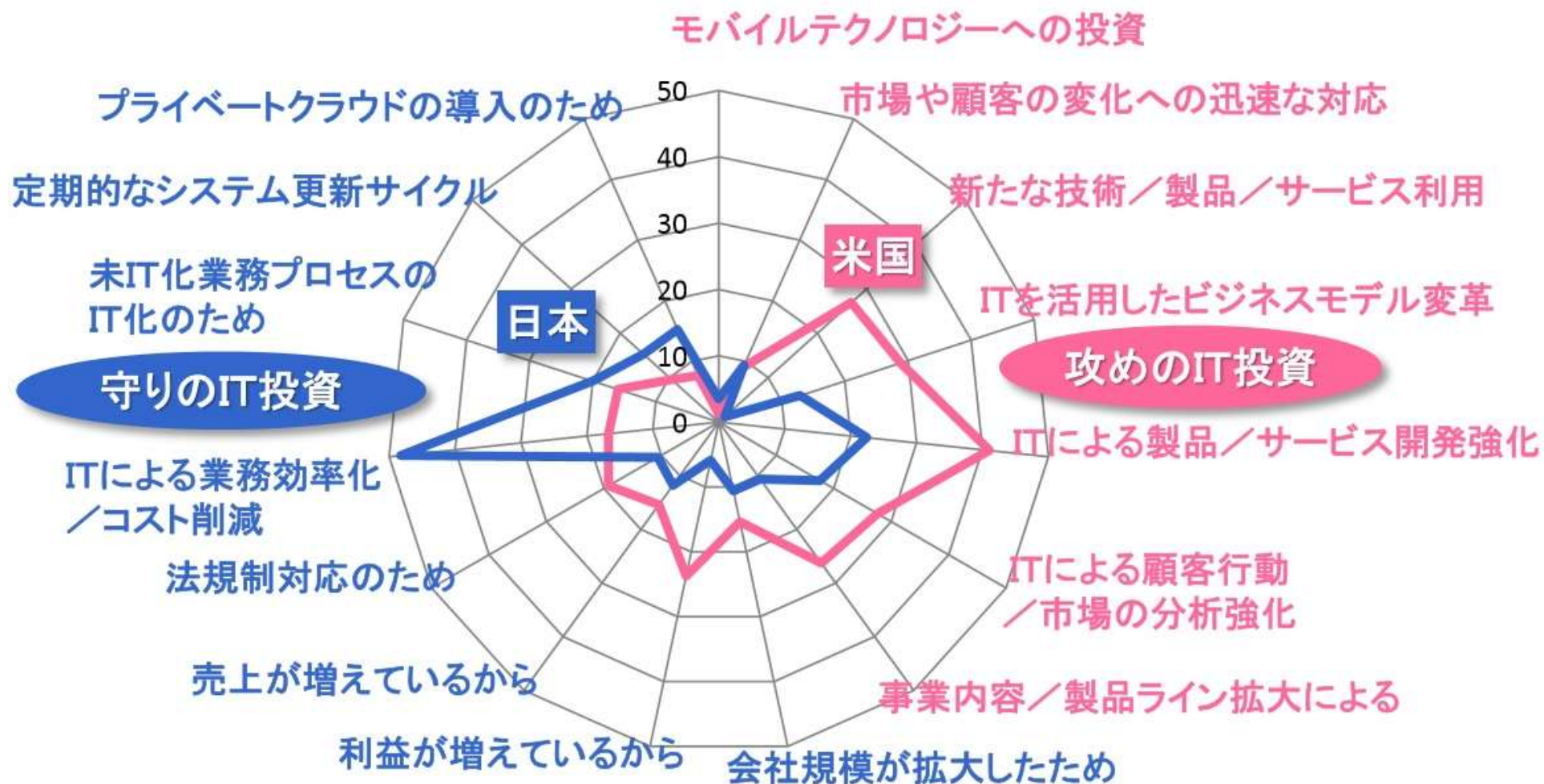
米国などで高い収益を上げている企業では、ITの活用による企業の製品・サービス開発強化やビジネスモデル変革を通じて

**新たな価値の創出やそれを通じた競争力の強化を目指す**

いわゆる「**攻め**」の**IT経営**を積極的に行っているとされています。

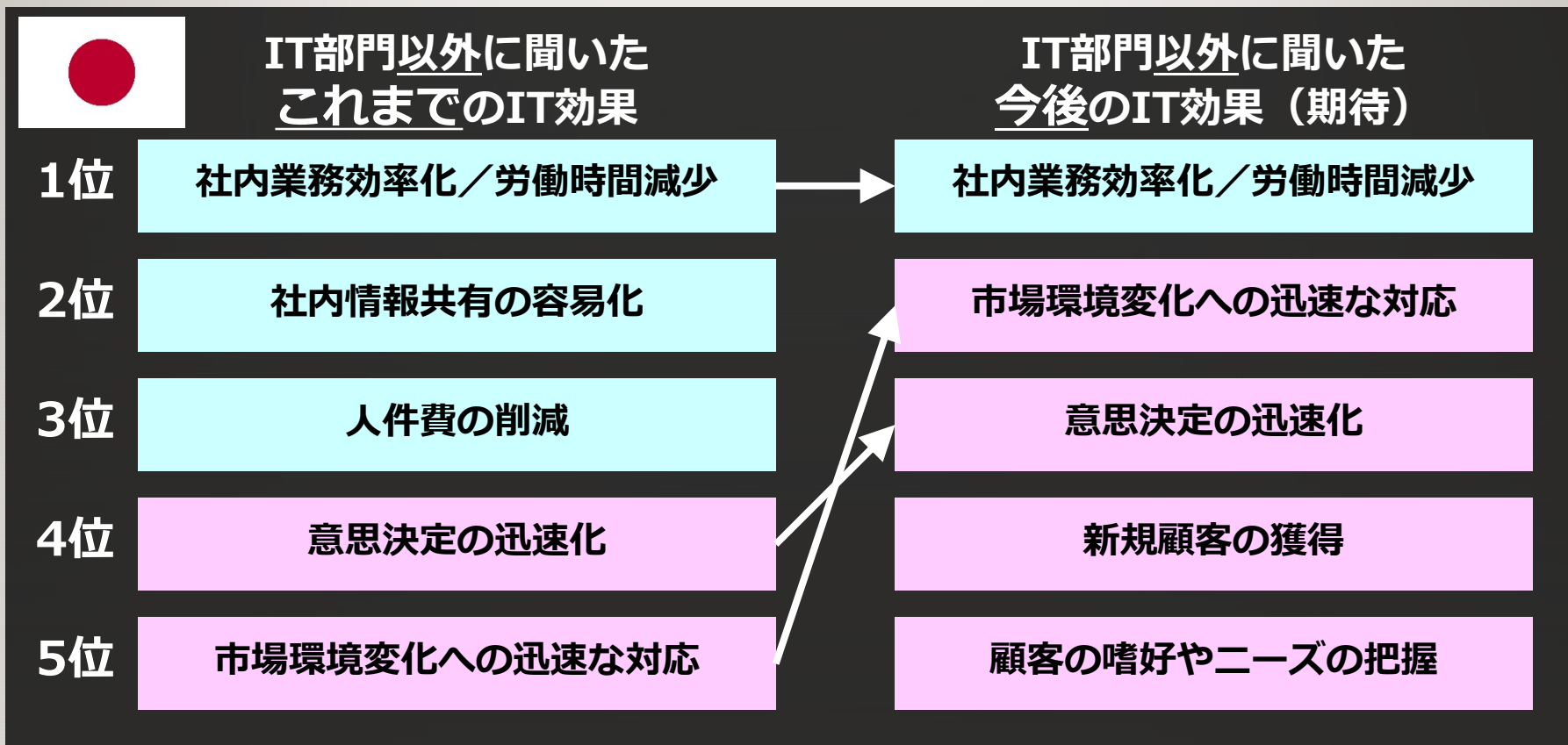
しかし、我が国企業のIT投資においては、依然として、その目的が**社内の業務効率化・コスト削減**を中心とした「**守り**」に**主眼が置かれる**場合が多い状況にあると考えられます。

# ◆IT予算を増額する企業における、増額予算の用途 (JEITA調査)



出典：JEITA / IDC Japan(株)  
「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」調査結果(2013年10月)

◆ 「攻めのIT投資」の機運は高まりつつある (JEITA調査)



出典：JEITA / IDC Japan(株)  
 「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」調査結果(2013年10月)  
 参考URL：http://home.jeita.or.jp/page\_file/20151008103941\_c0XeAfwu6o.pdf

■ : 攻めのIT      ■ : 守りのIT





◆この流れを加速

＜分科会で考えました＞  
この流れを加速するような仕組み、仕掛けは何か？

ITシステム？

資金？

データ？

アイデア？

人材？

ネットワーク？

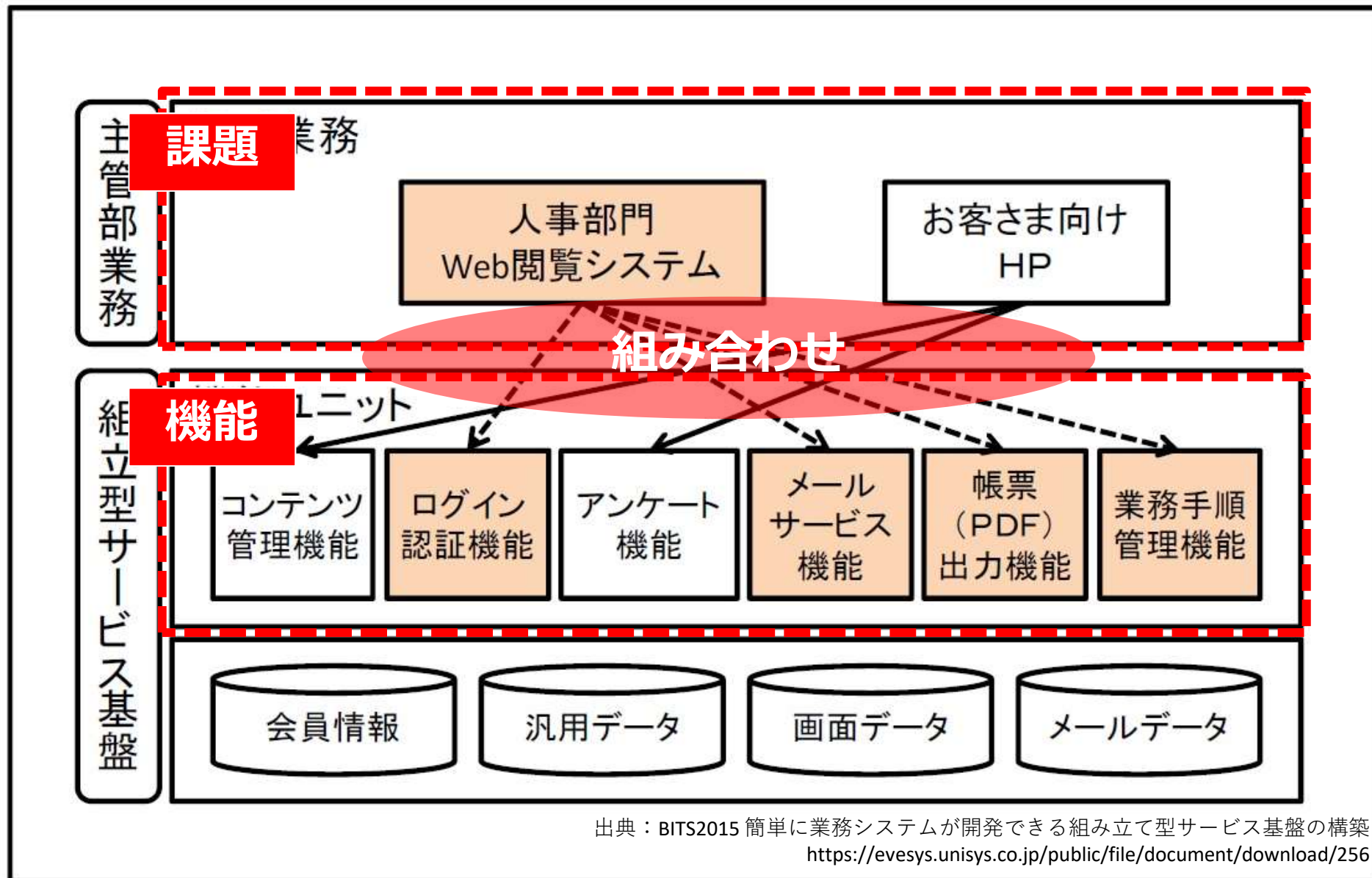
ルール？

これらを**組み合わせ**て**スピード**、**価値**を出し、  
「攻めの」ビジネス課題を解決するプロセス  
→ **組み合わせ型のビジネス課題解決**

# 組み合わせ型のシステム開発 (背景)

---

# ◆機能ユニットの組み合わせでシステム開発



◆このような考え方はできないか？

システム構築

組み合わせ

機能ユニット



ビジネス課題解決

組み合わせ

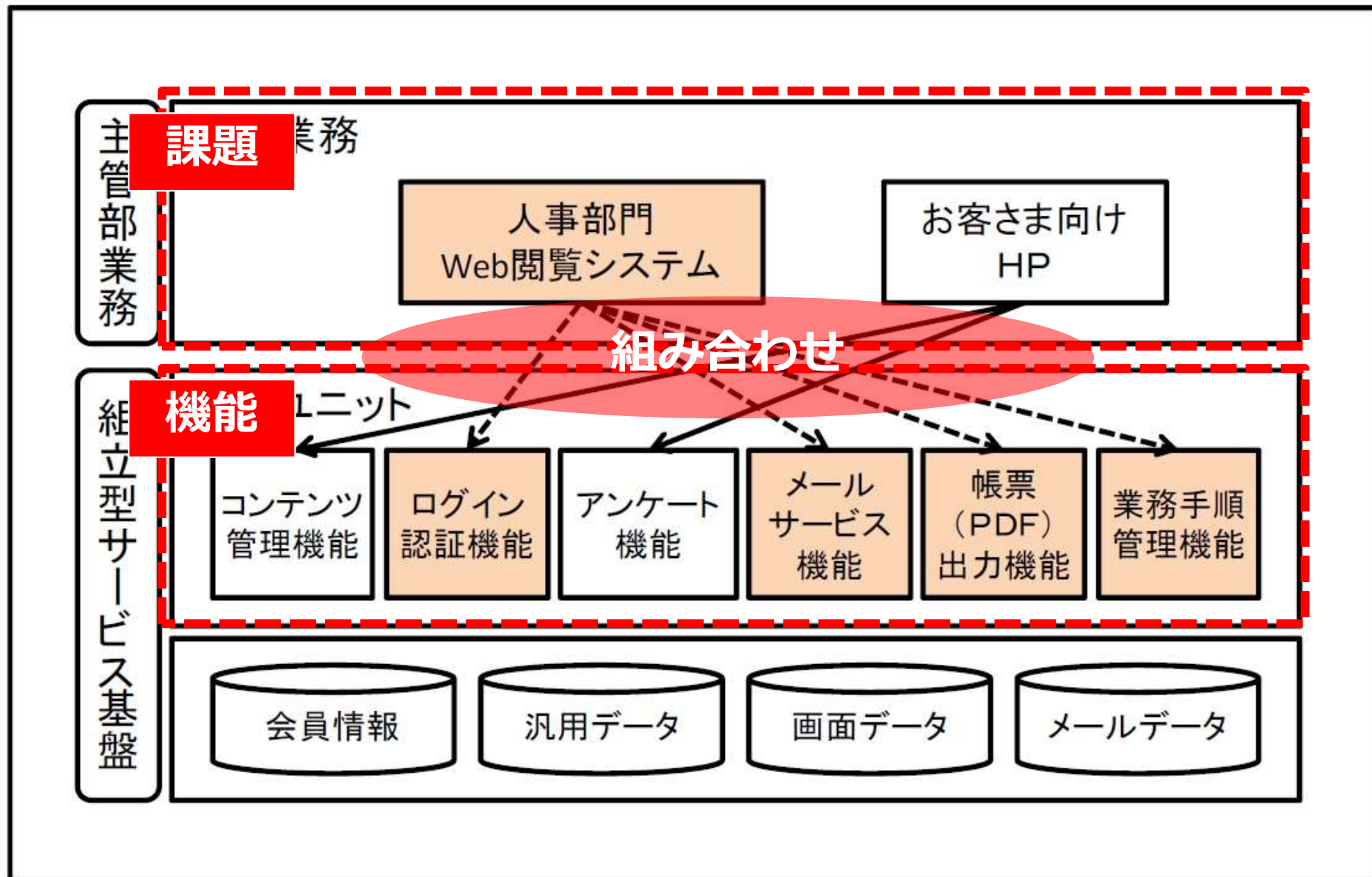
世の中のサービス

ここも  
できるだけ  
作らない

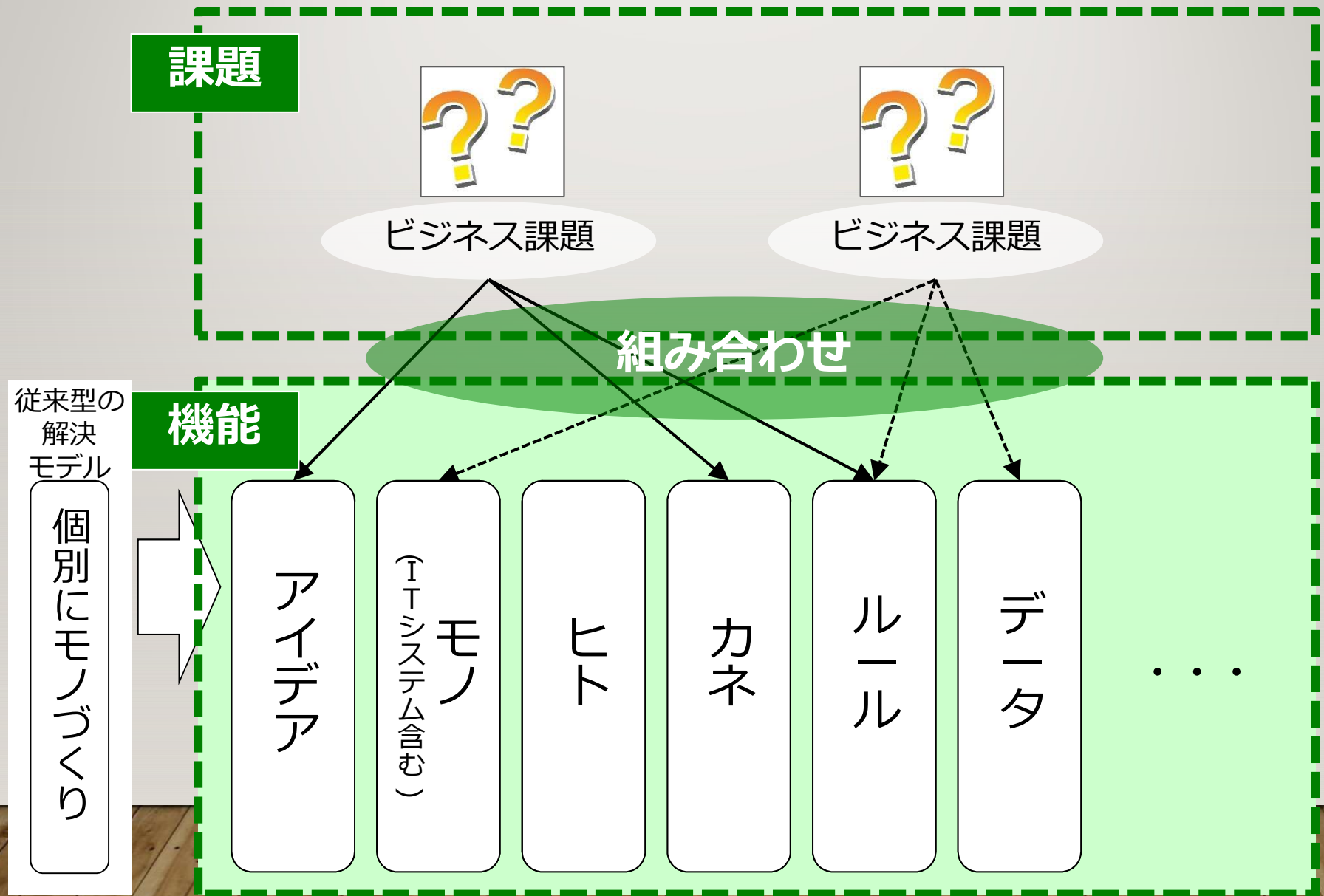
# 組み合わせ型のビジネス課題解決

---

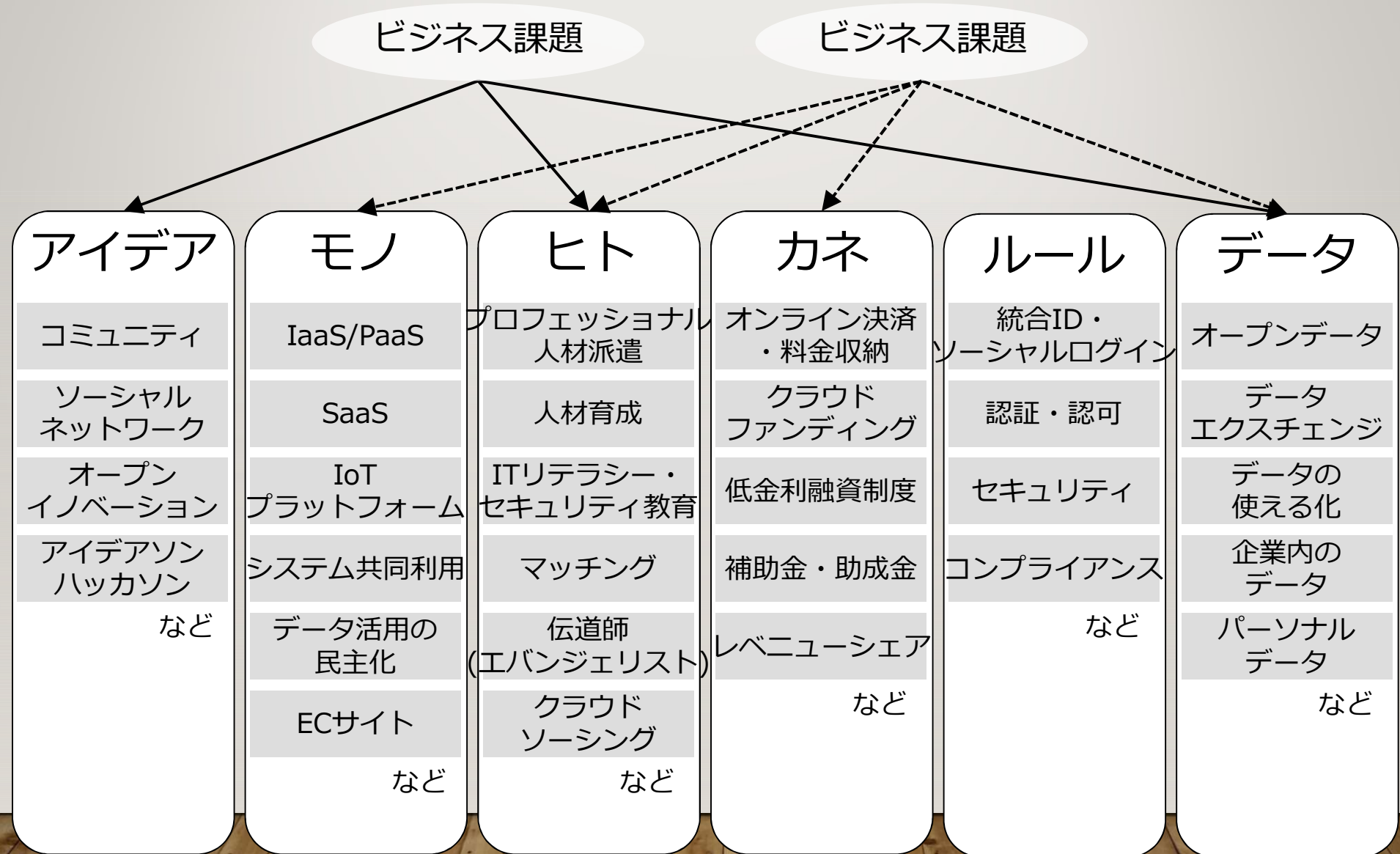
# ◆システム → 機能の組み合わせ



# ◆ ビジネス課題解決 → 機能の組み合わせ

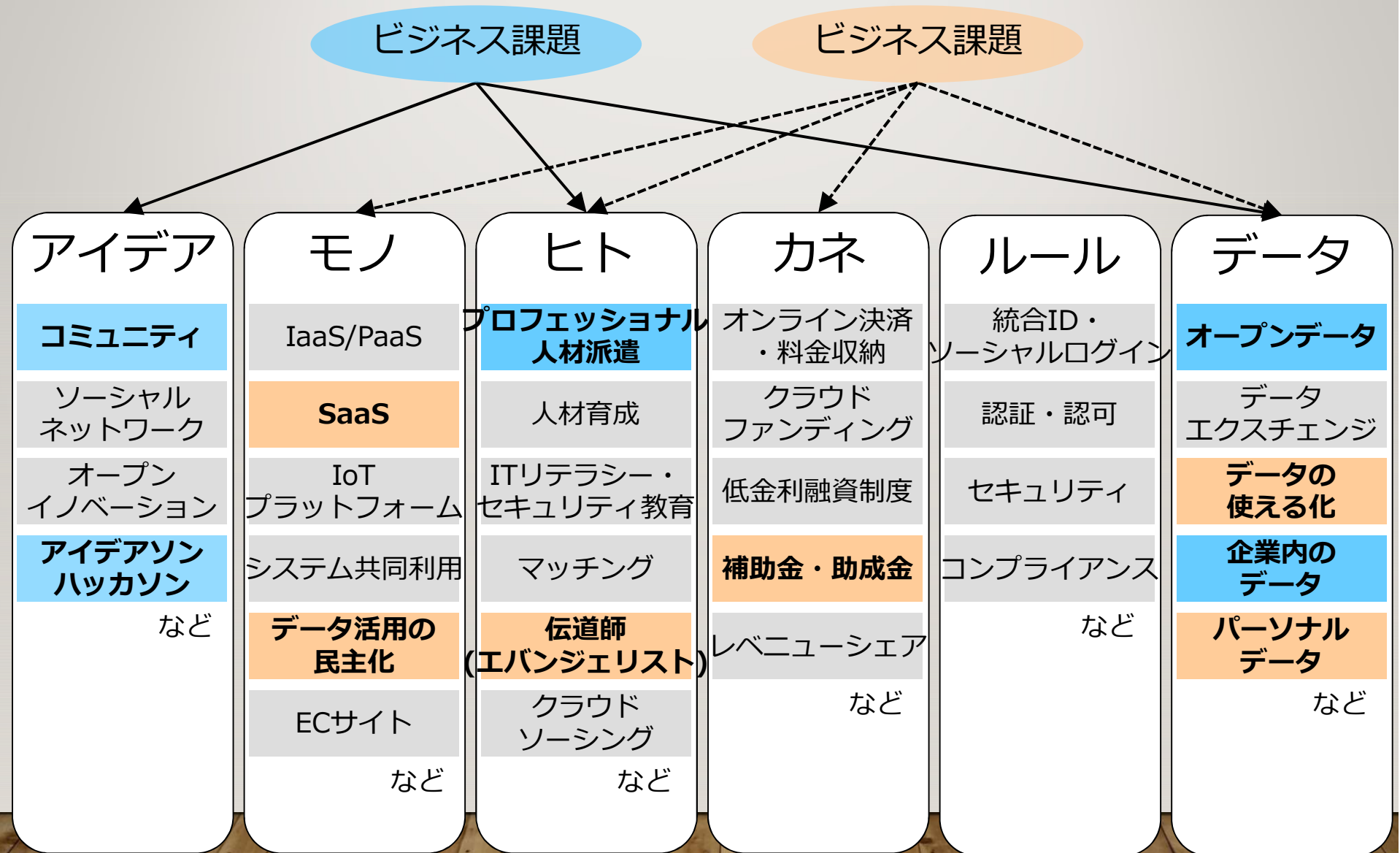


# ◆ビジネス課題解決 → 機能の組み合わせ

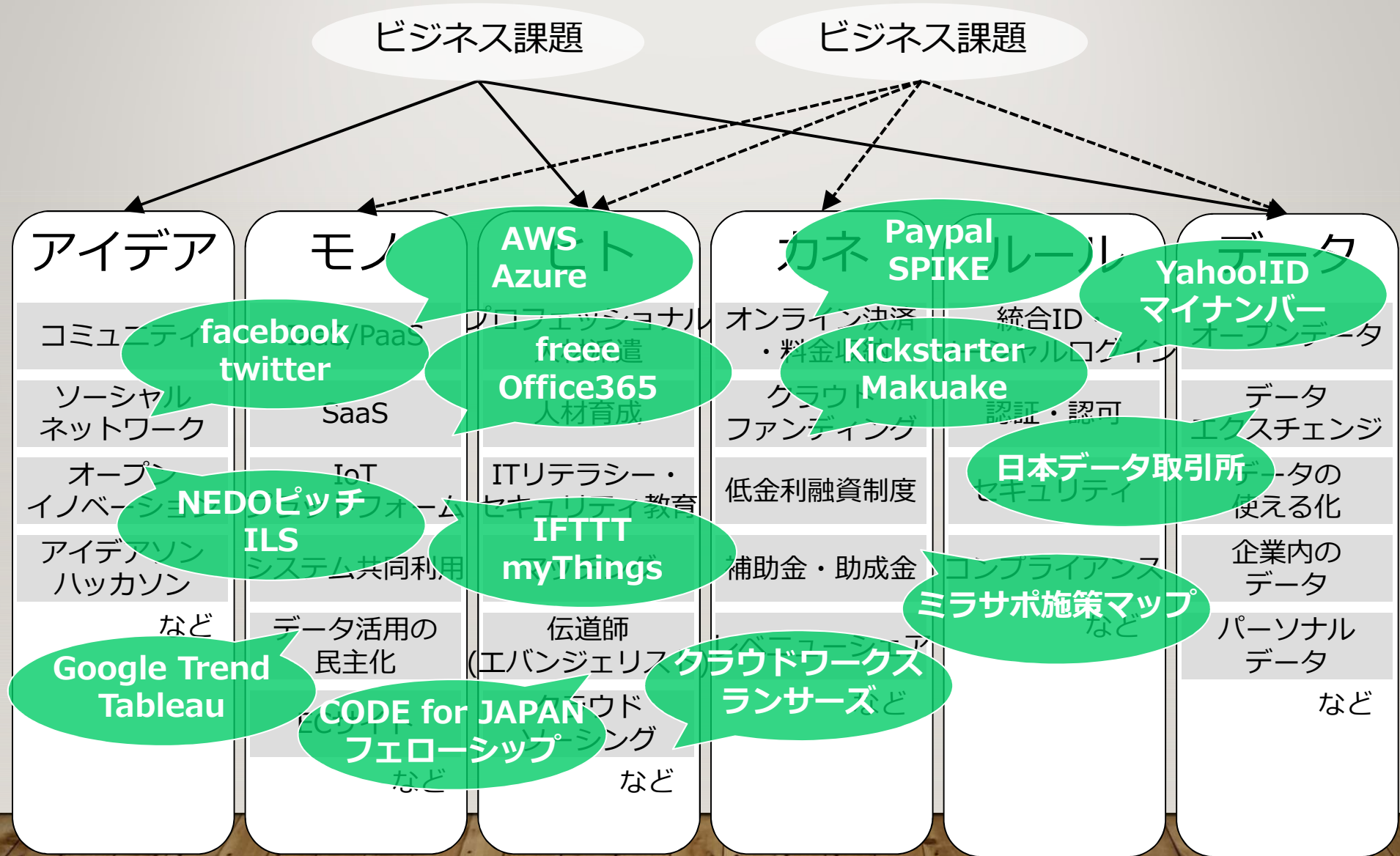




# ◆ビジネス課題解決 → 機能の組み合わせ



# ◆各機能は既存のサービス・仕組みで実現



# ◆ディクショナリにしました

◇「攻めのIT」ディクショナリ (仮)

カテゴリ	機能	概要	ツール・サービス (例)	備考
アイデア	コミュニティ形成 ネットワーク	①企業と顧客のコミュニケーションの場を形成する。[B to C] ②企業と企業のコミュニケーションを形成する。[B to B] SNSなどを積極的に活用する。 ①顧客とのネットワーク形成 [B to C] ②地域事業者 (共同事業、商店街など) 間の情報展開 [B to B] ③同業者間の技術情報共有 [B to B] などを行う。	①facebook、LINE、マチマチ (Proper) など ②facebook、LINE、マチマチ (Proper) など ③facebook、LINE、マチマチ (Proper) など	・マチマチ (Proper) 限定SNS [C to C] http://www.machimachi.jp/ ・IT技術者コミュニティ (地域) に関する、他事業者の技術コミュニティがあったが、成功例は少ない。
	オープンイノベーション	自社だけでなく他社や大学、地方自治体、社会起業家など異業種、異分野が持つ技術やアイデア、サービス、ノウハウなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデルや革新的な研究成果、製品開発、サービス開発、ソーシャルイノベーション等につなげるイノベーションの方法論 (wikipedia) 政府、自治体などがマッチングイベントなどを積極的に支援。 中小企業としては手段探索、目的探索としてアイデアなどを募集する立場、他社の募集に呼応する立場の両面がある。	・NEDOピッチ (NEDO) ・Innovation Leaders Summit (DREAM GATE) ・Osaka Innovation Hub (大阪市都市型産業振興センター) など	経産省 オープンイノベーション白書 http://www.meti.go.jp/press/2016/07/20160708001/20160708001.html ・NEDOピッチ https://www.joic.jp/index.htm ・Innovation Leaders Summit https://www.dreamgate.gr.jp/InnovationLeadersSummit/new/ ・Osaka Innovation Hub http://www.osaka-innovation-hub.jp/
アイデアソン/ハッカソン		アイデアソン/ハッカソンとは異なり、アイデアソンはアイデアの創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築を行う。 アイデアソン: ハッカソンとは異なり、アイデアの創出やアクションプラン、ビジネスモデルの構築を行う。 [参考] http://www.buildinsider.net/hub/hackideathon/01		・中小企業が自前でハッカソン・アイデアソンを企画するための土壌は整っていないと思われるため、自治体、大学、大企業等による場の形成が必要か。
相互提携モデル		自店に来たお客様に他店を紹介したり、他店に来たお客様に自店を紹介してもらったりと、相互に送客すること。(Yahoo!知恵袋) 各々がそれぞれに送客する仕組みを築いて集客体として戦うことで地域の競争力向上、活性化につながる。	・地域ブランド立ち上げ (東大阪市、大田区、燕市など) [B to B] ・電子マネー、共通ポイント [B to C] など	・東大阪ブランド http://www.higashiocalibrand.jp/ ・おたおたオープンファクトリー http://www.o-2.jp/mono/oof/event.html ・メイド・イン・ツバメ
モノ (ITシステム含む)	IaaS/PaaS	IaaS: コンピュータシステムを構築および稼働させるための仮想マシンやネットワークなどのインフラ) 専用のクラウド経由のサービスとして提供する。扱うにはITスキルが必要。 PaaS: ソフトウェアを構築および稼働させるためのプラットフォームを、インターネット経由のサービスとして提供する。扱うにはアプリ開発者が使う環境であるが、エンタープライズ系事業者もある。(wikipedia)		

ジャンル

機能

概要

サービス・仕組み

備考・留意事項

## 「攻めのIT」ディクショナリ (仮称)

「組み合わせ」を考えるときに辞書的に使ってください

H29.4頃 α版完成予定

## 参考) 使えるサービス (例)

### ○例 1 : アイデア

機能	使えるサービス (例)
コミュニティ形成	facebook、LINE@、マチマチ など
ソーシャルネットワーク	facebook、twitter、LINE、Skype、LinkedIn など
オープンイノベーション	NEDOピッチ、Innovation Leaders Summit、Osaka Innovation Hub など
アイデアソン/ ハッカソン	ハッカソン運営ガイド (Google) など

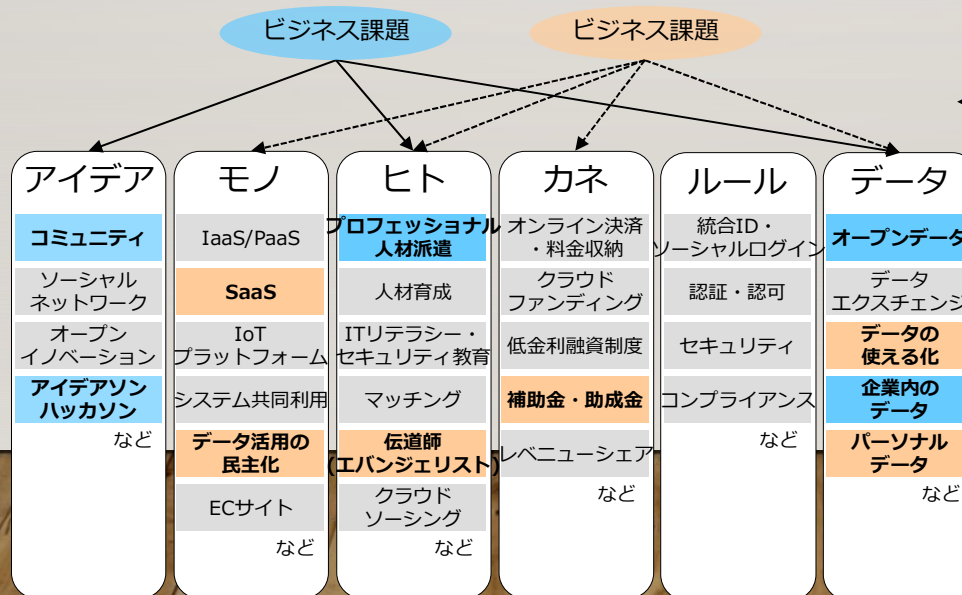
既に世の中にあり普及しているサービスなどから選定

## 参考) 使えるサービス (例)

○例2 : モノ

機能	使えるサービス (例)
IaaS/PaaS	各社IaaSサービス、各社PaaSサービス
SaaS	Salesforce (営業支援)、freee (会計)、Misoca (請求書発行)、Bizer (土業への相談)、サイボウズライブ (グループウェア)、Office365 (オフィスソフト・メール)、Skype (ビデオチャット)、Dropbox (ストレージ)、Togetter (キュレーション) など
IoTプラットフォーム	AWS IoT、Predix (GE)、Lumada (日立)、IFTTT/myThings など
データ分析の民主化	Google Trend、Yahoo! つぶやき感情分析、クチコミ@係長 (ホットリンク)、Tableau、PowerBI (マイクロソフト)、Amazon QuickSight など

# 「組み合わせ」てみる



← この話

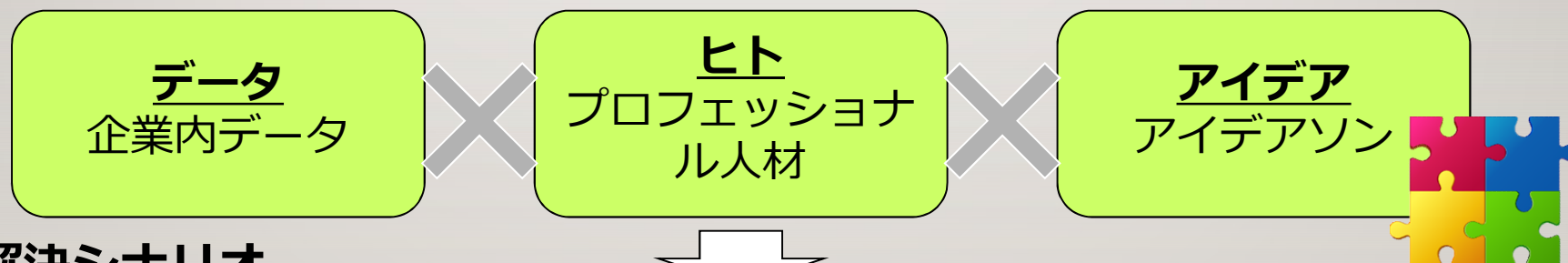
← デイクショナリ

## ◇シナリオ1：自社製品を使った新ビジネス

### ビジネス課題

継続的に取り扱う自社製品販売とは異なる  
自社製品を使った革新的なビジネスを立ち上げたいが  
ビジネスアイデアが社内から出てこない

### 機能（パーツ）



### 解決シナリオ

社内に眠る**企業内データ**を革新的なビジネスアイデアの種とするため、**プロフェッショナル人材**（ITコーディネータなど）に協力を依頼し、データの分類および可視化を進める。

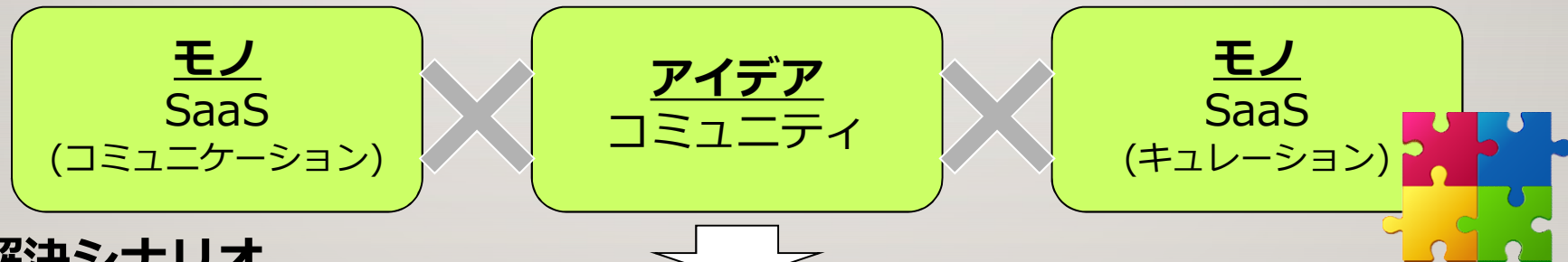
コミュニティなどで集った賛同企業合同による**アイデアソン**を自治体などのバックアップを得て開催。可視化したデータを提供する。

審査員は**プロフェッショナル人材**（インキュベータなど）にスポットで要請。

## ◇シナリオ2：ボランティアにおけるコミュニケーションギャップ ビジネス課題

ボランティア活動の施策側／受益側のコミュニケーション  
ギャップを埋め、活動の継続・拡大スパイラルを生み出したい

### 機能（パーツ）



### 解決シナリオ

ボランティア活動に、日常利用しているコミュニケーションツール  
(Facebookグループなど)を織り交ぜ、活動内容と「ありがとう」を可視化する。  
※インターフェースに工夫が必要（ボタン化など）

遠隔地からもボランティアに参加者できるように、現在の困りごとを  
クローズドコミュニティ（SNSなど）で公開。遠隔で解決アイデアを集める。

施策側/受益側のコミュニケーション内容をキュレーションサイト（Togetterな  
ど）にまとめて公開、ボランティア活動への参加意欲を高める  
継続・拡大スパイラルを生み出す。



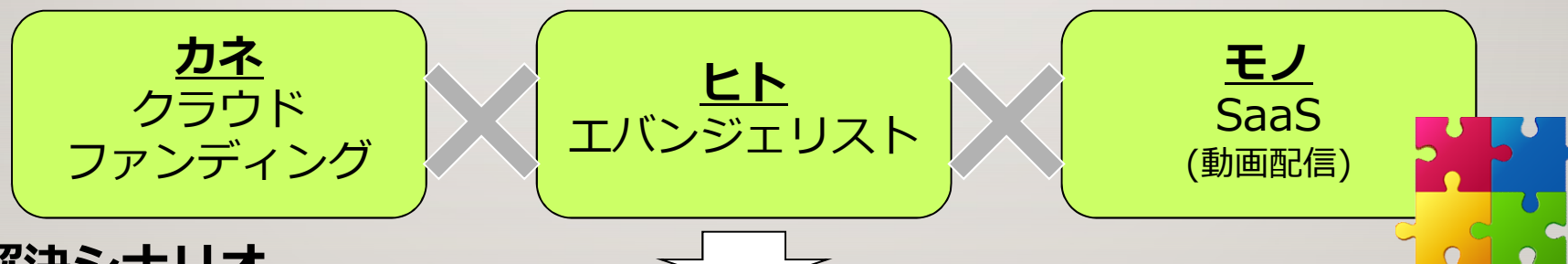
## ◇シナリオ3：農業技術・ノウハウを学ぶ塾

### ビジネス課題

参考：日本経済新聞 2017年1月30日 未来面

北米の専門農業は規模が大きく投資余力も高いため、先進的な技術の試行による生産性向上などの好循環が生まれている。日本では用地も限られるため、同じモデルは組めない。良い方法は？

### 機能（パーツ）



### 解決シナリオ

「〇〇地域で農業プロフェッショナル講座を開く」というコンセプトを掲げ、クラウドファンディング（Readyforなど）で運営資金、講師資金の出資を募る。〈寄付型 or 報酬型〉

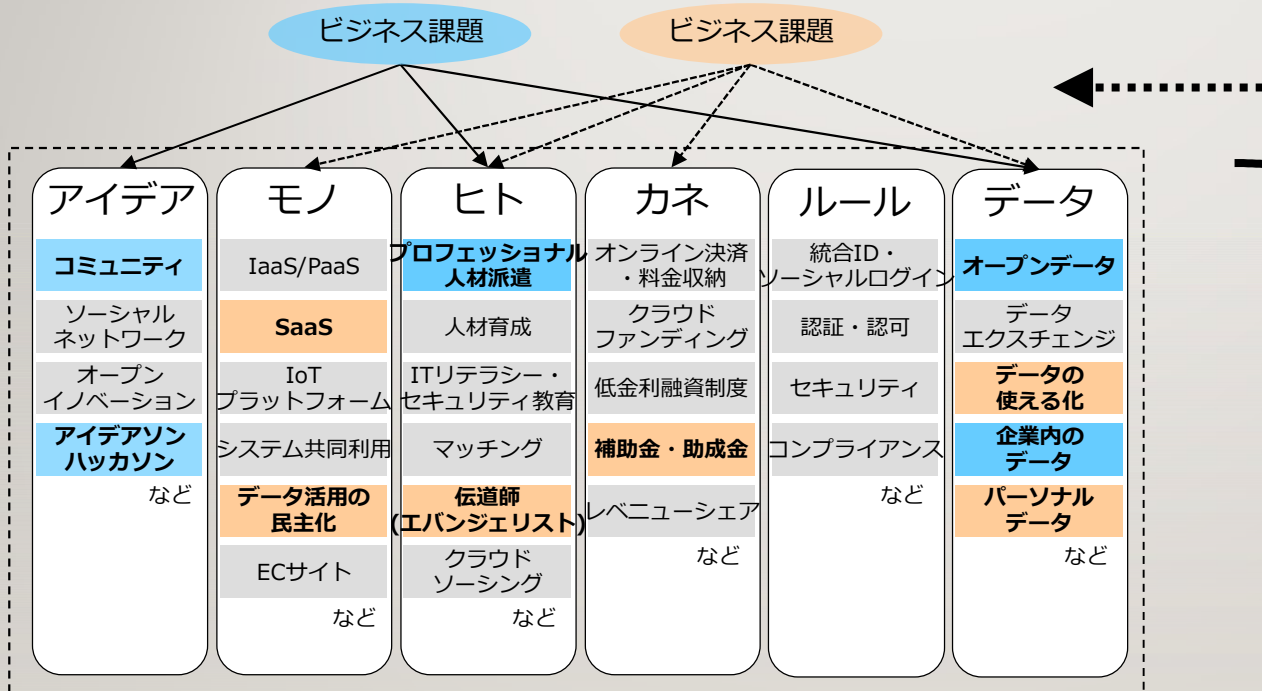
農業エバンジェリストにスポットで講師を依頼、オフラインで実施するとともに出資者などにもオンライン動画配信（Youtube Liveなど）受講を可能にする。

〔 さらに、大学とのコラボレーション、地域ブランドとの紐づけなどを行い、継続的な活動を目指す。 〕

# 今後の課題

---

# ◆今後の課題



課題3  
組み合わせノウハウの共有 (レシピ化?)

課題1  
ディクショナリのブラッシュアップ (内容、方式)

課題2  
対象となる業種、企業規模などの絞り込み

◆プラットフォームの構築基盤

カテゴリ	機能	概要	ツール・サービス (例)	備考
環境	コミュニティ形成	①企業と顧客のコミュニケーションの場を形成する。[B to C] ②企業と企業のコミュニケーションの場を形成する。[B to B]	①facebook, LINE®, マチマチ (Proper) ②facebook, サイボウズライブ など	・マチマチ: 近所限定C2C [C to C] <a href="https://machimachi.com/">https://machimachi.com/</a>
	ソーシャルネットワーク	C2Cなどを積極的に活用し、 ①顧客とのネットワーク形成 [B to C] ②地域事業者 (公民館等、商店街など) 間の情報交換 [B to B] ③企業間を越えて情報交換 [B to B]	①facebook, twitter, LINE®, Instagram ②facebook, twitter, LINE, Skype ③facebook, LinkedIn, サイボウズライブ など	・IT技術者のコミュニティ (LinkedIn) に限らず、他事業者の技術コミュニティはあるのか? ・地域C2Cはこれまで様々なチャレンジがあったが、成功例は少ない。
	オープンイノベーション	①企業間の技術・ノウハウの共有 ②企業間の技術・ノウハウの共有 ③企業間の技術・ノウハウの共有	①GATE ②Osaka Innovation Hub (大阪府知事直轄) ③Osaka Innovation Hub (大阪府知事直轄)	・オープンイノベーション <a href="https://www.gate.jp/press/2016/07/20160708001/20160708002.html">https://www.gate.jp/press/2016/07/20160708001/20160708002.html</a> ・Osaka Innovation Hub (大阪府知事直轄) <a href="https://www.oic.jp/index.htm">https://www.oic.jp/index.htm</a>
	アイデアソン/ハッカソン	ハッカソン: エンジニア、デザイナー、プログラマー、マーケティングなどがチームを作り、与えられたテーマに対し、それぞれの技術やアイデアを持ち寄り、短時間 (1日~1週間程度) に集中してサービスやシステム、アプリケーションなどを開発 (プロトタイプ) し、成果を競う開発イベント。 アイデアソン: ハッカソンとは異なり開発までは行わず、新たなアイデアを出しアイデアソンを企画、ビジネスモデルの構築などを短時間で	・ハッカソン運営ガイド (Google) <a href="https://www.innovation-escape.jp/a/oih">https://www.innovation-escape.jp/a/oih</a>	・ハッカソン運営ガイド <a href="https://sites.google.com/site/devreljp/Home/hackathon-in-a-box/hackathon-guide">https://sites.google.com/site/devreljp/Home/hackathon-in-a-box/hackathon-guide</a> ・中小企業が自前でハッカソン・アイデアソンを企画するための土壌は整っていないと思われるため、自治体、大学、大企業等による場の形成が必要。

**「攻めのIT」ディクショナリ (仮称) ※a版**

「攻めのIT」で日本を元気に！

私たちと一緒に考えませんか？

ご清聴ありがとうございました